公益財団法人京都伝統産業交流センター

平成 30 年度事業計画

1 京都市勤業館常設展示場の展示事業

京都市内の伝統産業について体系的に紹介する施設として設置された「京都伝統産業ふれあい館」（以下「ふれあい館」という。）について、国、京都府及び京都市が指定する京都の伝統工芸品 74 品目、約 500 点の展示を確実に行うとともに、展示内容の魅力向上及び来館者へのサービス向上を主眼に置き、(1)～(5)の取組を効果的に関連させつつ管理運営を行います。

	平成 30 年度目標	平成 29 年度(見込)	平成 28 年度
年間来館者数	185,000	178,800	168,404
対前年度比	+3.5%	+6.2%	+2.9%

(1) 常設展示

ア 団体での見学者を対象とした解説

ツアー団体（少人数グループも可）や学校の授業としてふれあい館を見学する際に、京都の伝統産業や展示品についての解説を希望する来館者については、無料でレクチャーを実施します。

イ 展示品入替え

伝統産業関連の各組合等から出品いただいている展示品については、各組合等の協力のもと季節等に合わせて随時展示品の入替えを行います。

ウ 展示場内放映用映像の制作

現在展示場内で放映中の映像で取り上げられていない品目の映像を立命館大学映像学部と共同で制作します。なお、本事業は大学の企業連携プログラムの一環で授業科目の 1 つとして実施します。

(2) イベントルーム

関係団体との共催事業及び常設展示との相乗効果が期待できる展示会等を実施します。

[平成 29 年度：36 事業、平成 28 年度：38 事業]

(3) ギャラリー

当財団単独主催又は関連業界団体等との共催により企画展を開催します。

[平成 29 年度：7 事業、平成 28 年度：6 事業]

(4) 図書室

伝統産業及び工芸に関する約 8,000 冊の書籍と約 450 点の映像資料を備え、無料で閲覧に供するとともに持出不可の書籍以外の書籍の貸出を行います。

(5) 特別展の開催

ふれあい館独自に設定するテーマによる特別展を夏季、秋季及び冬季の 3 回開催します。特に、夏季に開催する企画展は、2019 年 9 月に日本で初めて京都で開催される国際博物館会議（I COM）のプレイベントと位置づけ、常設展示場内で特別展示や子どもを対象とした関連イベント等を実施します。

(6) 特別イベントの開催

ふれあい館内において、京都市が開催するイベントとの連動企画や企業等との共同企画を実施し、ふれあい館への集客を図ります。

開催日	イベント名	実施内容
9月中旬	京まふ関連イベント	アニメキャラクターの型を用いた摺型友禅染体験
10月中旬	京都国際映画祭関連イベント	ミニ企画展、ワークショップイベント等
2月中旬	京都マラソンおもてなし企画	ランナーを対象とした抽選会等
3月	「伝統産業の日」関連イベント	職人実演まつり、伝産品着用特典付き摺型友禅染体験等

(7) ふれあい館リニューアルに係る設計

伝統産業製品の需要拡大・伝統産業の担い手育成に向け、ふれあい館の更なる魅力向上や伝統産業製品の販売促進機能の強化を図るために実施するリニューアルの設計を行います。
(2019年度に工事を実施)

2 伝統産業に関する振興及び啓発事業

(1) 伝統工芸品制作体験教室

伝統技法に則り、世界に一つしかない作品を制作する体験事業を実施します。毎週日曜日は予約不要で摺型友禅染体験を受け付け、日曜日以外は団体や修学旅行生のみを対象として予約制で摺型友禅染のほか、京こま制作等の体験を受け付けます。

		平成30年度目標	平成29年度(見込)	平成28年度
摺型友禅染	体験者数(人)	3,250	3,105	2,881
	体験料収入(円)	3,500,000	3,363,510	3,335,940
上記以外	体験者数(人)	130	119	164
	体験料収入(円)	325,000	299,300	358,180
合計	体験者数(人)	3,380	3,224	3,045
	体験料収入(円)	3,825,000	3,662,810	3,694,120

(2) 「匠と舞」事業

ア 匠ふれあい事業

(ア) 常設展示場内における職人実演

来館者に伝統工芸品への興味関心をより深めていただくため、伝統工芸品の制作工程を間近で見させていただき、職人と直接コミュニケーションをとることができる機会を設けます。

[平成29年度(見込)：延べ655人、平成28年度：延べ613人]

(イ) 各種イベント等への職人派遣

国際会議、ホテルの催事及び観光フェアなどのイベントに、主催者からの依頼により職人を派遣し、イベント会場で実演販売を行います。

[平成29年度(見込)：22イベント 延べ75人、平成28年度：22イベント 延べ63人]

イ 芸舞妓舞台

常設展示場内に設けた舞台において、歩く伝統産業ともいえる舞妓による舞披露とその衣装や装飾品に使われている伝統工芸品についての解説を毎月第三日曜日に実施します。また、毎月第四日曜日には、同じ舞台上で芸妓による舞披露や和楽器の演奏とミニトークを実施します。

(3) 工房訪問事業

京都を訪れる方により深く伝統産業の魅力を知っていただき、伝統産業製品の購入につなげるため、工房訪問を希望する方と工房とを当財団がマッチングする仕組みである「京都工房コンシェルジュ」について、旅行商談会等で売り込むほか、より特別感を望む富裕層向けのメニューを観光事業者等とともに開発するなど、事業の魅力向上に取り組みます。

[平成 29 年度 2 月末現在：687 人利用、平成 28 年度：485 人利用]

(4) ふれあい館サロン

職人と他業種の方との交流会を約 2 か月に 1 回開催し、ゲストとしてお迎えした他業種の方のミニ講演会の後、ゲストと参加した職人との間で意見交換を行います。

(5) 京ものユースコンペティション事業

若手職人の研鑽と露出の機会の創出を目的として、京都市から企画・運営業務を受託して実施します。

(6) 宿泊・商業施設等との共同企画の実施

ホテルや大型商業施設において、一般の方が気軽に伝統産業に触れることのできる機会を創出するため、展示物の貸し出しや職人派遣、ワークショップの開催などを当該施設と共同で実施します。

(7) 伝統産業に関する講演会の実施

ふれあい館内で開催する特別展示と関連させた内容による一般市民対象の講演会や京都ビジターズホスト養成研修メニューとして伝統産業に係る講義を複数回実施します。また、大学等の要請により出張講義等も実施します。

3 伝統産業製品の提供事業

現代の人にとって敷居が高くなりがちな伝統産業製品を身近に感じていただけるように、オンラインショップ「京もの専門店みやび」を運営するほか、京都迎賓館や二条城のオリジナルグッズ、会議やイベントで出席者に配られる記念品として伝統産業製品の販売に取り組みます。

【売上実績】

(単位：円)

	平成 30 年度目標	平成 29 年度(見込)	平成 28 年度
オンラインショップ等	8,000,000	7,300,000	9,342,450
実店舗出展	500,000	950,000	714,461
常設展示・実演販売	3,000,000	3,500,000	2,193,336
記念品(特別注文)等	18,500,000	25,443,550	27,821,163
合計	30,000,000	37,193,550	40,071,410

4 その他受託事業

以下の団体及び事業の事務局業務を受託し行います。

- ・ KYO-MONO is COOL!プロジェクト実行委員会
- ・ 京都伝統産業青年会
- ・ 京都市産業技術研究所の若手伝統工芸作家作品の展示販売事業

5 広報活動

(1) SNS 及び口コミサイトの活用

昨年 11 月に Tripadvisor でふれあい館が「国内無料観光スポットランキング 2017」において第 5 位に選ばれました。これにより極端な来館者の増加はないものの、周辺でイベント等が開催されていない平日の来館者数が若干高めに推移していますので、今後も多角的に展開する広報活動において口コミ対策にも一定力を注いでいきます。

(2) 首都圏・海外への情報発信

京都市が首都圏で開催する大使館レセプション等の事業に職人派遣や伝統工芸ワークショップの開催等により協力すると同時にふれあい館の PR を行います。

(3) 観光業界への情報提供

- ・ ニュースレターの送信（月 1 回）
- ・ 観光案内所や宿泊施設等へのパンフレット配架依頼
- ・ 工芸品展示や職人実演に係るホテルからの要望への対応
- ・ 修学旅行生誘致のためのパンフレット送付

(4) 他施設及び他団体との連携

- ・ 岡崎コンシェルジュ PR サイトへの情報提供
- ・ 「おみやげ街道×京都伝統産業ふれあい館」におけるデジタルサイネージによる情報発信
(平成 30 年 8 月まで)
- ・ 大学イベントへの協力を通じた若者へのアプローチ